



伊那中学校 泉が丘祭 9/26 探究の時間「マインクエスト」



伊那中学校では、「探究」をキーワードに、生徒が自ら課題を設定し、主体的に学びを進め、深める「マイ

チャレンジ」という取組をしています。

そして、文化祭では、探究心を高めたり、マイチャレンジのヒントを探したりするために、地元企業、保護者、高校生など地域の探究者を講師に招き、様々な分野の探究・挑戦・生き方を知る「マインクエスト」が行われています。

今年度も左の表のように多岐にわたる興味深い内容の講座が並び、生徒の皆さんはどの講座を選ぶのか迷ったのではないかなと思いました。

「マインクエスト」は、普段関わる機会が少ない違う年代の人たちから話を聞き、さらにその人たちが生き生きと探究をしている姿を見たり、共に体験したりすることを通して、感じたり考えたりする、日常ではできない貴重な学習の機会となっていました。

伊那中学校では、校区にある各保育園での遊びの中から生まれる学び、伊那小学校、伊那西小学校の様々な体験から生まれる学びを活かしながら、中学校ではリアルな学びを追究していくという、保小中で一貫して子どもを育てる視点を大事にして、生徒の「学びたい」を第一にした学校運営を進めています。

伊那中学校 泉が丘祭「マインクエスト」講座一覧

	講 座 名
1	筆と墨のアート～臨書に挑戦しよう～
2	プラスチックって何？ プラスチックに触れてみよう
3	美文字講座
4	樹木医の仕事
5	よく飛ぶ紙飛行機教室
6	幸福度世界一のオランダ体育体験教室
7	Team力up講座
8	英語力ゼロのお友達集まれvol.3
9	実験！よく噛むってどう？ ～噛むことと体の関係から～
10	「能」を知ろう、体験してみよう
11	ヒーローには必ず“色”がある！ キミの魅力の色は何？
12	宮田村アサギマダラの里産 藤袴手作り石けんワークショップ
13	己書講座
14	あなたの笑顔が見たいから バルーンアート&マジックショー
15	アフレコ体験教室
16	中学生が必要な体と心の科学について
17	エレクtoonフェス
18	デザインをもっと身近に デザインの魅力を見つけよう
19	私と“がん哲学” ～人生に期待される生き方～
20	知る事が力になる ～優しさでつなぐ未来の仕事～
21	上伊那魅力発見伝
22	レモンスカッシュを手作りしよう
23	WEBサイト制作体験



1 高校生と共に「臨書」を体験



5 少し複雑な手順でしたが、高校生に教わりながら無事完成！



21 高校生に美味しいパン屋さんを紹介してもらいました。



15 実際にアニメのアフレコを録音



10 顔を上下に動かすと、能面が喜びや悲しみの表情になります。



14 教室中に笑顔あふれる1時間でした。



2 ペットボトルキャップを細かくして溶かし、金型にはめてアヒル誕生



22 美味しいレモンスカッシュを目指して真剣に説明を聞きます。

高遠北小学校「地域を学ぶ日」 10/1

藤沢地区「高遠第2・第3保育園建設現場見学」



高遠北小学校で、児童の皆さんが、藤沢・長藤・三義の三地区に分かれて、自分の地区の自然や歴史、文化や産業について学習する「地域を学ぶ日」が行われました。この行事は平成21年度からはじまり、学校の先生ではなく、各地区の区長会長さん・分館長さん・育成会長さんたちが計画して、運営する行事です。

今年は藤沢地区が「高遠第2・第3保育園建設現場見学」、長藤地区が「江戸時代の古民家両国屋見学」、三義地区が「山室農業の未来を開いた県営総合基盤整備事業について学ぶ」という内容で実施され、今回は藤沢地区16名の児童の皆さんの学習を取材させていただきました。

「信州やまほいく認定園」として、自然を生かした保育に取り組む高遠第2第3保育園は、53年を経て園舎の老朽化により新たに建設中で、今回、その現場を見学させていただくことになりました。講師は、ヤマウラ、広瀬建設、林電機、市役所工事関係課の皆さんです。



工事現場の仮設ハウスで、保育園の工事について、説明を聞きました。



下島園長先生から、第2・第3保育園の歴史を聞きました。



市役所都市整備課の藤田さんから、新しい保育園の施設のお話を聞きました。



（株）ヤマウラの丸山さんから安全第一で、工事を進めているお話を聞きました。



みんな真剣に説明を聞いて、メモしていました。



後半は、実際に現場に行って、市役所教育環境整備課の登内さんから、説明を聞きました。



ここは、保育室になる場所です。



右端が分館長の北原さん、隣りが育成会長の伊藤さんです。最後にみんなで記念撮影！

園児数が減少し、閉園が考えられた時期もありましたが、地域の皆さんといっしょに考える子どものための新しい保育園をつくろうということになり、地域や保護者の皆さんが切ってきた木を内装に使うなど、想いのこもった保育園の建設が進んでいます。建設中の見学は今しかできない貴重な体験で、児童の皆さんにとっても保育園の建設が身近になり、完成が待ち遠しくなったことと思います。



猛暑の中、工事を進めてきてくださいました。これからも頑張って下さい！



工事現場の横を、小雨の中、保育園児の皆さんが、山を登って行きました。たぐましい姿でした。

西春近南小学校「間伐作業体験」 10/2



西春近南小学校の5年生22名と6年生24名の皆さんは、大平林道で間伐作業の体験をしました。作業の指導をしていただくのは、西春近財産区議員の加納さんをはじめ、財産区と三地区山林組合の9名の方々です。

はじめの会の後、ヘルメットとノコギリを準備してから、まず間伐のやり方やデモンストレーションを見学して、10の班に分かれて作業を開始しました。



はじめの会で、加納さんから、森林や間伐についてお聞きしました。



自然に助け合って、ノコギリを腰につける姿、カッコいいですね！



ノコギリで、木を切り倒す方法を教えてもらいました。



チェーンソーでのデモンストレーションを見学しました。



「ヒノキは、虫を寄せ付けないから、家の材料にいいんだよ。」
「へえ～、すごい！」



①木の3分の1まで、横に切る
②斜めに切って、「受け口」完成。



③「受け口」の反対側から「追い口」を作る



④木を押し倒します。



⑤枝を切り落とします。



⑥幹を2mずつに切ります。

はじめは「木が固かった。」とか「斜めに切るのが難しかった。」などと話していた児童の皆さんでしたが、次第に慣れて、指導の方に「腰が入っていて上手だね。」と褒めていただいたり、スムーズにノコギリが動くようになったりしてきました。また、木が倒れると自然と拍手が沸き起こる班もあって、達成感も味わえたようです。

間伐作業体験は、木の学習や間伐の仕方の学習と共に、友だちと協力したり地域の大人と関わったりしながら、自然を大切にする気持ちを育む、充実した活動でした。



東春近小学校

「クラブ活動」

10/9



東春近小学校では、手品・お箏・茶道・生け花の4つのクラブで、地域の方や外部の方に講師をお願いして、

◎電卓パズー（11/2の場合）
・ $11 \times 4 + 9 \times 25 + 2 = 1327$ と電卓をうってもらい、電卓を受け取り、 -225 をうつと 1102 となる。
・「誕生日は、11月2日ですね」

◎電卓好きな数字（6の場合）
・ 12345679×6 (好きな数字) を入れてもらい、電卓を受け取り、 $\times 9$ で $=666666666$ となり、「好きな数字は、6ですね」

活動しています。

取材の日は、6回目のクラブということで、講師の先生と子どもたちの関係も良く、みんな生き生きと活動していました。「生け花クラブ」は、作品を東

手品クラブ



この日は、電卓を使った手品をやりました。まず、「電卓パズー」をやりました。



次に「電卓好きな数字」をやりました。

お箏(こと)クラブ



一般の箏を扱いやすいように小型に改良した「文化箏」を使っています。



6回目のクラブということで、上手に演奏できていました。

茶道クラブ



まず、講師の先生がお手本を見せます。



棗(なつめ)から茶碗に、茶杓を使って抹茶を入れています。

生け花クラブ



主役となる菊の茎を切って、花留めのオアシスにさします。



「秋のみのり」というテーマで、7種類の植物を生けて、完成です。

春近公民館の文化祭に出品するという事で、地域を盛り上げることに一役買っています。

コロナ禍で、クラブが中断していた時期もありましたが、どの講師の先生もその前から各クラブの指導をしていただき、長い間、東春近小学校の児童とかかわっていただいている方ばかりです。「茶道クラブ」の先生からは、クラブで教えたお子さんがお母さんの年齢になっても茶道を続けていて、茶道の催しで再会し、お茶を出してもらったことがあり、とても感動したというお話をお伺いしました。こんなにも長い間、指導をしていただけてありがたいと思うと共に、ご高齢になられている講師の先生が多かったので、お元気で指導を続けていただきたいと思います。

高遠町公民館「名勝・名所を訪ねる講座」

10/19

『満蒙開拓平和記念館』を訪ねて



「満洲国」の国旗

高遠町公民館主催の「名勝・名所を訪ねる講座」では、阿智村にある「満蒙開拓平和記念館」を訪ねました。

はじめに、事務局長の三沢亜紀さんから、農業移民を進めた地域のリーダーの責任や現地の農地を安く買い上げた事実などにより、満蒙開拓を語り伝えることが難しく、風化する歴史になろうとしていたという話をお伺いしました。次に、DVDを視聴して、関東軍が満州事変を起こし満州国が建国され、国策として満州移民が進められましたが、敗戦となり、ソ連の侵攻や中国人の襲撃で、移民の死の逃避行がはじまり、多くの犠牲者が出たことを体験者の証言と共に知り、満蒙開拓の歴史を学びました。その後、2つのグループに分かれて、担当の清水さんと島崎さんからそれぞれ館内の展示や資料について、丁寧に説明をしていただきました。

上伊那には、「伊那富」「富貴原郷」「三峯郷」「伊南郷」の4つの開拓団があり、高遠町は、「三峯郷開拓団」として、開拓移民94名、青少年義勇軍8名の計102名が満州に渡り、終戦後のゆくえは、帰国者55名、死亡者43名、残留者4名でした。自分たちの地域から満州に渡った人たちの入植地や人数を知ることで、展示されている写真や資料が身近な事実として感じられました。

戦後80年の今年、満蒙開拓平和記念館を訪ねて、改めて戦争は絶対にしてはいけないことであり、次世代に伝えることが大切だと思った充実した講座でした。

伊那市の渡満者数と終戦後のゆくえ

旧村名	渡満者数				終戦後のゆくえ			
	農業開拓移民	報告農場・助労奉仕隊	義勇軍	総数	帰国者・退団帰国者	死亡者	残留者	不明者
伊那町	152	8	67	227	137	72	17	1
高遠町	94		8	102	55	43	4	
西箕輪村	63	2	11	76	46	29	1	
西春近村	18		24	42	28	12	1	1
東春近村	59		31	90	61	29		
富貴村	31	1	19	51	37	12	1	1
河南村	24		8	32	25	7		
美和村	33		16	49	25	24		
伊那里村		2	16	18	15	3		
藤沢村	20		7	27	20	5	2	
長藤村	72		6	78	34	41	3	
三義村	45	1	8	54	30	24		
美濃村	131		19	150	83	62	5	
手良村	1	1	6	8	6	2		
伊那市計	743	15	246	1004	602	365	34	3



満蒙開拓平和記念館は、2006年に建設することが決まり、2013年に開館しました。



2019年に建てられた「根羽杉」の香りがするセミナー棟で、お話を聞いて、DVDを見ました。



満州の風景と開拓団の人々の映像と写真を見ました。



「満蒙開拓移民入植図」の説明で、高遠の人たちの入植地の場所も教えていただきました。



青少年義勇軍の訓練所の写真や教本、満州からの葉書などが並んでいました。



ソ連侵攻のルートや関東軍撤退の様子から、開拓団の深刻な状況が分かりました。



年表を見て、満州からの引揚げや日中関係の変遷、残留孤児調査等について、説明を聞きました。



満蒙開拓体験者や送り出した立場の人などの証言が写真と共に展示されていました。